

目的別チュートリアル

目次

全般的な注意事項	2
ソフトウェア使用上の制限事項	3
DVカメラのダビング	5
TV番組をDVDに録画する	11
DVDビデオの作成方法	15
スライドショーを作る	20
DVDレコーダで録画した映像をDVDビデオに変換	25
DVDを再生する	28
音楽CDを作る	29
データDVD/CDを作る	34
Power2Go Expressを使って簡単に音楽CDやデータDVD/CDを作る ..	38
Windowsシステム終了時に、自動的にディスクを排出する	40
使用可能なメディアとサポート形式	42
各ソフトウェアのオンラインマニュアルの参照方法	43

全般的な注意事項

1. 目的に合ったソフトウェアとメディアをご使用ください。

メディアにPCデータを書き込む場合と、映像を書き込む場合、DVD-RAMメディアを使用する場合とその他のメディアを使用する場合は、使用するソフトウェアが異なる場合があります。目的に応じて適切なソフトウェアを使用して書き込みを行ってください。

2. DVD-RAM メディアを使用して書き込みを行う場合は、必ずメディアのフォーマットを行っておいてください。

フォーマットの種別は書き込み用途により異なります。本製品付属のフォーマッタソフトウェアを使用して、以下のようにフォーマットを行ってください。

パソコンのデータ記録用に使用する場合は、フォーマット種別で「ユニバーサルディスクフォーマット (UDF 1.5)」を選択してください。

AVデータを記録する用途で使用する場合はフォーマット種別で「ユニバーサルディスクフォーマット (UDF 2.0)」を選択してください。

フォーマッタソフトウェアの使用方法については、ハードウェアマニュアルに記載しておりますので、必要に応じてご参照ください。

ソフトウェア使用上の制限事項

Power2Go について

Windows Me,98 Second Edition、2000 環境では Power2Go で書き込みを行う場合、DVD-RAM をセットした場合とそれ以外のメディアをセットした場合で、書き込み先に指定するドライブが異なります。

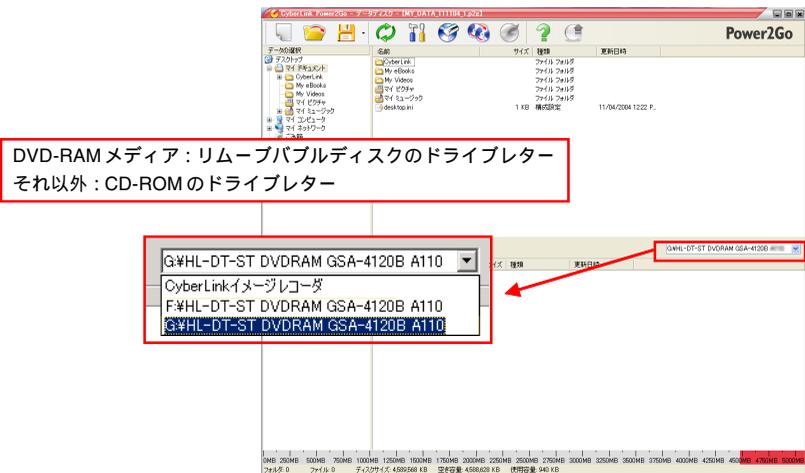
書き込みを行う際は以下を参考に、ドライブを指定してください。

- 1 .
マイコンピュータ上で、「リムーバブルディスク」
「CD-ROM」のドライブレターを確認します。



- 2 .
Power2Go を起動し、表示される「書き込みタスクの選択」で目的のフォーマットを選択し「OK」ボタンをクリックします。

- 3 .
メインウィンドウが表示されますので、ウィンドウ中央部にある「書き込みドライブ」メニューをクリックし、書き込みを行うメディアに合わせてドライブを選択してください。



「Power2Go」を使用して PC データを追記書き込み可能な状態でメディアに書き込んだ場合、そのメディアは Windows XP、Windows 2000 (ServicePack3 以降) でのみ読み込みが可能となります。

4GBを超えるファイルの保存について

Power2GoはDVDメディアへの記録にOSでの読みとり互換の高い「UDF/ISO9660ブリッジ」を採用しています。この「UDF/ISO9660ブリッジ」というフォーマット形式は、1ファイル4GBを超えるファイルを書き込むことができません。4GBを超えるファイルの保存には、「UDF 1.5」を採用しているB's CLiPをご使用ください。

B's CLiP について

「B's CLiP」は、他社製のパケットライティングソフトと同時に使用できません。他社製のパケットライティングソフトがインストールされている場合は、そのソフトをアンインストール（削除）する必要があります。

また、Windows XPで、エクスプローラ上の書き込み機能を使用する場合は「B's CLiP」をインストールしないでください。この2つの機能も重複して使用することはできません。

PowerBackup について

「PowerBackup」は、Windows 98 Second Edition ではご使用になれません。

コピープロテクトされたディスクについて

付属ソフトウェアは、CSSなどのコピープロテクトがかけられたディスクには対応しておりません。一般にコピープロテクトを解除することは法律で禁じられております。

DV カメラのダビング

概要

DV カメラの映像を、DVD ビデオとして DVD-R、DVD+R メディアへそのまま記録（保存）します。

使用するソフトウェア : PowerProducer 3

本製品の他に必要なもの

- ・ IEEE 1394 ポートが搭載されているパソコン
- ・ DV カメラと、映像が記録済みの DV テープ
- ・ IEEE 1394 ケーブル
- ・ DVD-R または、DVD+R メディア

手順

1

パソコンの電源を入れ、DV カメラに DVD ビデオとして録画するテープをセットし、パソコンに接続します。

DV カメラは、多くの場合、IEEE 1394 (iLINK) ポートを使用します。詳しくは、ご使用の DV カメラの取扱説明書をご参照ください。

2

インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックして、PowerProducer を起動してください。



CyberLink
Power Produc...

3

起動画面で「ムービーディスクの作成」を選択してください。

「ムービーディスクの作成」
を選択



4

「ディスク形式の選択」ウィンドウが表示されますので、「1.ディスク形式の選択：」で「DVD」を選択し、「2.ディスクサイズの選択：」で書き込みを行なうメディアのサイズを選択し、「→」をクリックしてください。

1. DVD を選択

2. ディスクサイズを選択

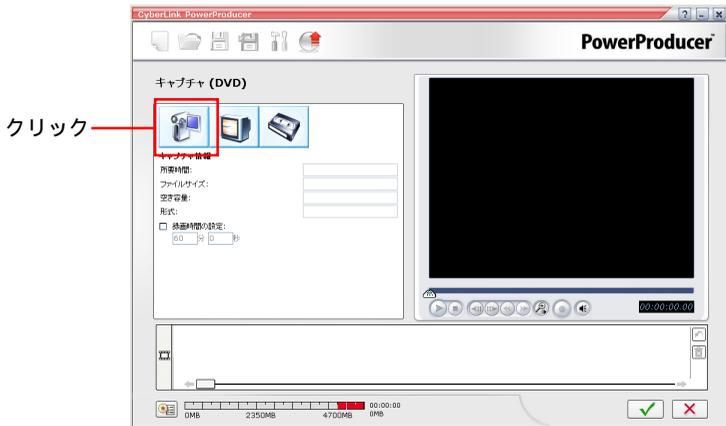
3. 「→」をクリック

5

「ディスク (DVD)」ウィンドウが表示されますので、「キャプチャ：動画」をクリックしてください。

クリック

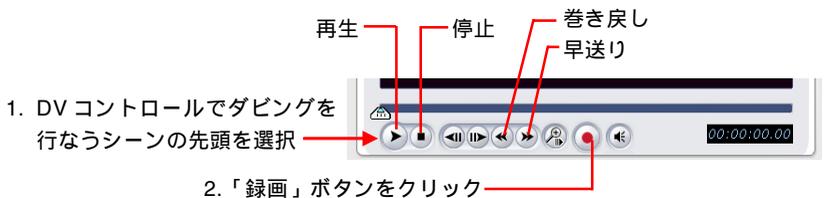
6 「キャプチャ (DVD)」ウィンドウが表示されます。DVカメラのアイコンをクリックしてください。



! **ご注意**

ここでキャプチャデバイスの欄に「DVカメラ」が表示されていない場合は、パソコンに接続しているDVカメラが正常に認識されていないことが考えられます。PowerProducerを終了し、DVカメラとパソコンの接続を確認後、再度ははじめから作業を行ってください。

7 DVコントロールが使用可能になりますので、ダビングを行なうシーンの先頭を選択し、「録画」ボタンをクリックしてください。自動的にDVカメラの再生が始まり、録画を行ないます。



8 録画を終了する場面になったら、「停止」ボタンをクリックして、録画を終了します。



9

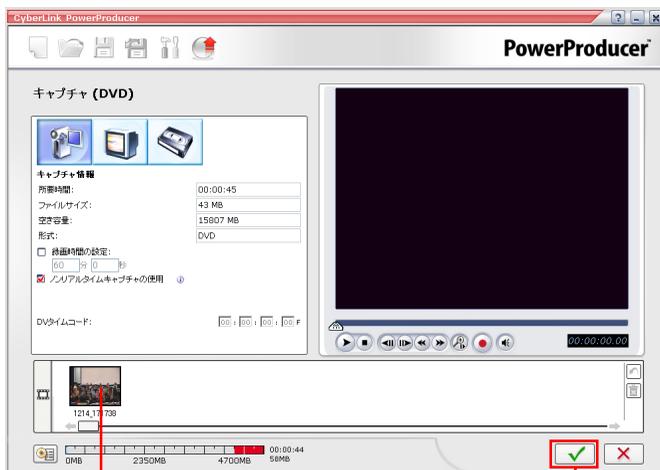
「トランスコーディング作業を行なっています...」というメッセージが表示され、自動的にトランスコーディングを行ないます。

この間、ユーザーは特に作業をする必要はありません。



10

トランスコーディングが終了すると、「タイトル」エリア内に録画した映像のアイコンが表示されます。「」ボタンをクリックしてください。



ここに録画した映像のアイコンが表示されます。

「」ボタンをクリック

11

「ディスク (DVD)」ウィンドウに戻ります。
「」ボタンをクリックしてください。



「」ボタンをクリック

12

「書き込みの設定」ウィンドウが表示されます。ドライブにメディアをセットして、以下の設定を行ない、「」ボタンをクリックしてください。

- ・「現在のドライブ」に本製品のドライブ名「HL-DT-ST DVDROM GSA-4163B」が表示されている事を確認
- ・「ボリュームラベル：」にディスクのボリューム名を入力（デフォルトでよければ無視）
- ・「ディスクの書き込み」チェックボックスにチェックが入っていることを確認

1. 確認

2. 入力

3. チェック

4. 「」をクリック



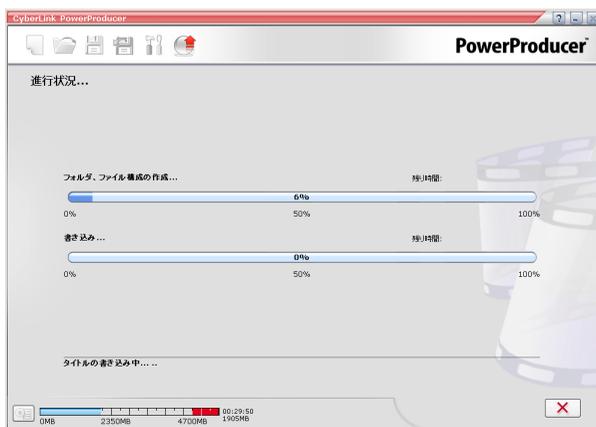
Point

ポイント

B's CLiPのインストールされている環境では、B's CLiPのウィンドウが表示されませんが「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

ドライブ名が異なる場合はドライブ名横の「」ボタンをクリックして、本製品のドライブ名を選択してください。

13 「進行状況...」ウィンドウに変わり、書き込み作業が始まります。



Point ポイント

書き込み作業は、ご使用のパソコンのCPU、メモリのスペック、書き込みファイルの容量により、異なりますが、最低でも数十分ほどかかります。

14 書き込みが終了すると以下の画面が表示され、トレイが自動的に排出されます。以上で作業は終了です。



TV 番組を DVD に録画する

概要

本製品とパソコンを使って TV 番組を DVD に録画します。

使用するソフトウェア : PowerProducer 3

本製品の他に必要なもの

- ・ WDM 準拠の TV チューナーボードを搭載したパソコン
- ・ TV チューナーボードに接続するアンテナ
- ・ DVD-RW、DVD+RW メディアまたは DVD-RAM メディア

手順

1

インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックして、PowerProducer を起動してください。



CyberLink
PowerProduc...

2

起動画面で「Right-to-Disc」を選択してください。



「Right-to-Disc」を選択

3 「ドライブ/ディスクを確認」ウィンドウが表示されますので、「使用するドライブ：」で本製品のドライブ名「HL-DT-ST DVD-RAM GSA-4163B」を選択し、書き込みを行うメディアをドライブにセットします。「ディスクメディアの種類」にメディアの名称が表示されることを確認し「」をクリックしてください。

1. 本製品のドライブ名
を選択

2. メディアの種類が表示
されていることを確認



3. 「」をクリック

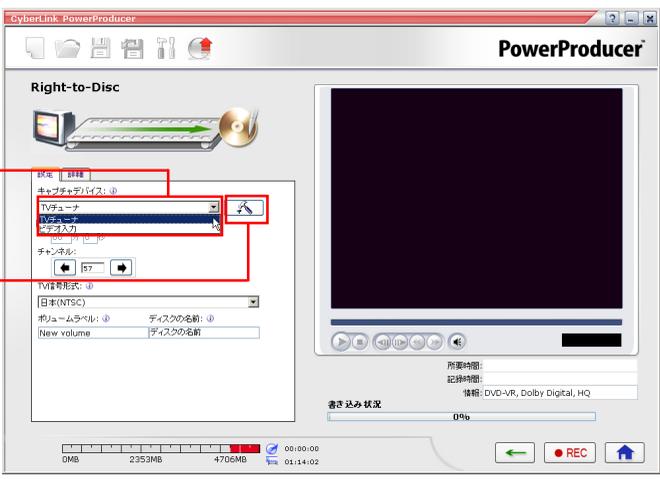
! ご注意

B's CLiP がインストールされた環境では、B's CLiP のウィンドウが表示されます。この場合、ウィンドウ右下の「キャンセル」ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じてください。

Point ポイント

新規（ブランク含む）の DVD-RW メディアでは「録画するためにディスクを準備しています。」というメッセージが表示されます。数分でメッセージが消え「Right-to-Disc」ウィンドウが表示されます。

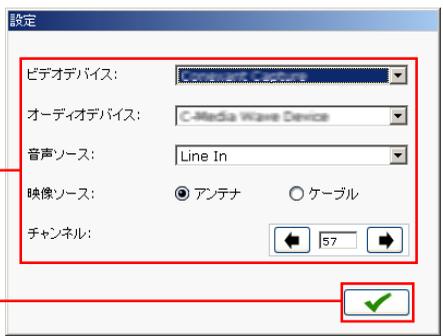
4 「Right-to-Disc」ウィンドウが表示されます。
 「キャプチャデバイス：」に録画を行うデバイス（TVチューナやビデオ入力）を選択し、「」ボタンをクリックしてください。



1. デバイスを選択

2. 「」ボタンをクリック

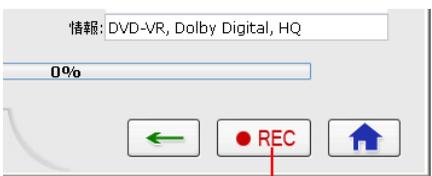
5 入力元やチャンネルの設定など、TVの設定を行い、「」ボタンをクリックしてください。



1. 必要な設定を行い、

2. 「」ボタンをクリック

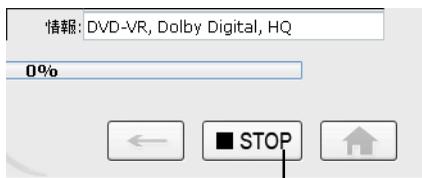
6 「Right-to-Disc」ウィンドウに戻るので、「」ボタンをクリックしてください。録画が始まります。



「」ボタンをクリック

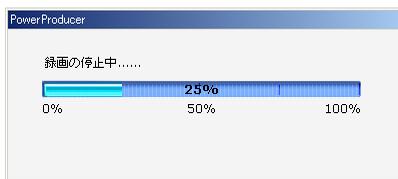
7

「■STOP」ボタンをクリックすると、録画が終了します。



「■STOP」ボタンをクリック

停止中は右のメッセージが表示されます。



DVD-RWメディアの場合は、この後、「ファイナライズ処理」が自動的に行われます。

終了すれば、書き込みが完了です。



ご注意

民生レコーダーで、映像の追記を行う場合には「ファイナライズ解除」作業を行う必要があります。手順については、レコーダーのマニュアルを参照願います。

DVD ビデオの作成方法

概要

PowerDirector 等で作成した動画ファイルを元に、DVD ビデオを作ります。
PowerDirector を使うと、高度な動画編集を行うことができます。

使用するソフトウェア : PowerProducer 3

本製品の他に必要なもの

- ・パソコン
- ・DVD -R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW メディア
- ・映像ファイル (MPEG2、DV AVI ファイルなど)

手順

1

インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックして、PowerProducer を起動してください。



2

起動画面で「ムービーディスクの作成」を選択してください。

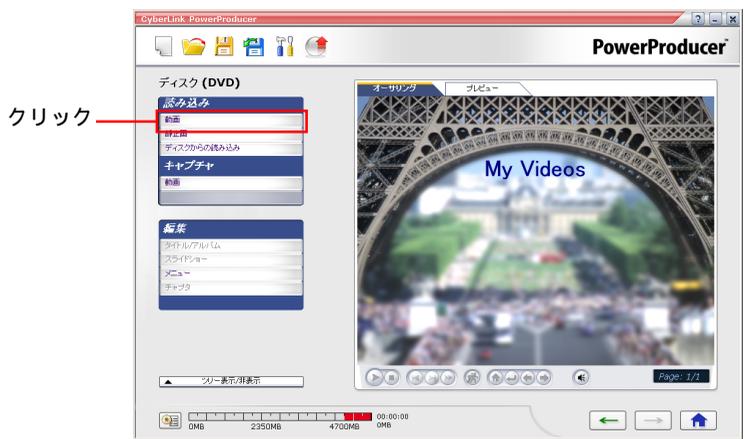
「ムービーディスクの作成」
を選択



3 「ディスク形式の選択」ウィンドウが表示されますので、「1.ディスク形式の選択：」で「DVD」を選択し、「2.ディスクサイズの選択：」で書き込みを行なうメディアのサイズを選択し、「」をクリックしてください。



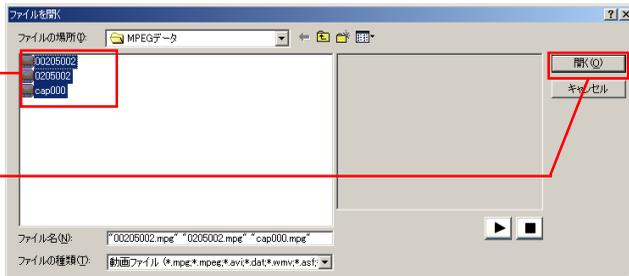
4 「ディスク (DVD)」ウィンドウが表示されますので、「読み込み：動画」をクリックしてください。



5 「ファイルを開く」ウィンドウで、DVDに保存したい動画ファイル（MPEG2、AVIなど）を選択し、「開く」をクリックしてください。

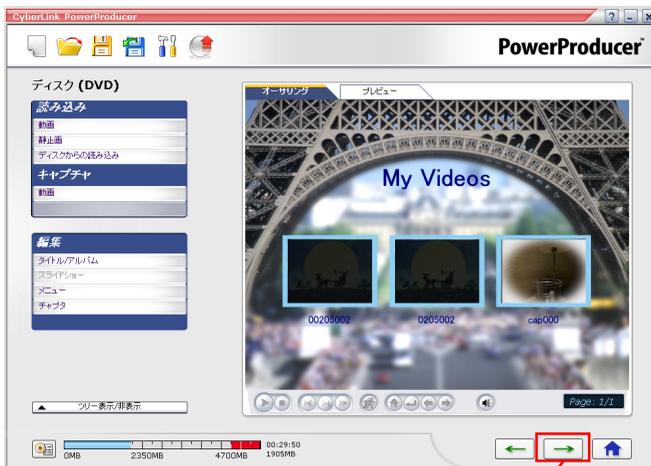
1. ファイルを選択

2. 「開く」をクリック



同じフォルダ内に保存されているファイルなら、同時に選択可能です。

6 「ディスク（DVD）」ウィンドウに戻りますので、「」をクリックしてください。



「」をクリック

7 「書き込みの設定」ウィンドウが表示されます。ドライブにメディアをセットして、以下の設定を行ない、「」ボタンをクリックしてください。

- ・「使用するドライブ」に本製品のドライブ名「HL-DT-ST DVD-RAM GSA-4163B」が表示されている事を確認
- ・「ボリュームラベル：」にディスクのボリューム名を入力（デフォルトでなければ無視）
- ・「ディスクの書き込み」チェックボックスにチェックが入っていることを確認

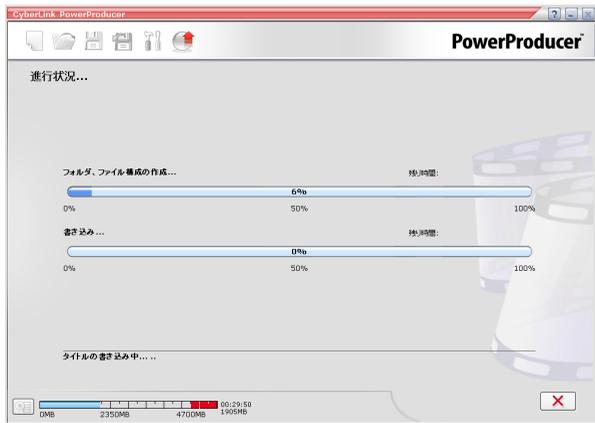


Point ポイント

B's CLiPのインストールされている環境では、B's CLiPのウィンドウが表示されますが「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

ドライブ名が異なる場合はドライブ名横の「」ボタンをクリックして、本製品のドライブ名を選択してください。

8 「進行状況...」ウィンドウに変わり、書き込み作業が始まります。



Point ポイント

書き込み作業は、ご使用のパソコンのCPU、メモリのスペック、書き込みファイルの容量により、異なりますが、最低でも数十分ほどかかります。

10 書き込みが終了すると以下の画面が表示され、トレイが自動的に排出されます。以上で作業は終了です。



スライドショーを作る

概要

デジカメで撮影した画像ファイルで、DVDプレーヤーを使ってTVで再生することができるスライドショーが保存されたDVDを作成します。

使用するソフトウェア : PowerProducer 3

本製品の他に必要なもの

- ・パソコン
- ・DVD -R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW メディア
- ・画像ファイル (jpeg、gif ファイルなど)

手順

1

デジカメで撮影した画像ファイルを、パソコンに取り込みます。

- ・パソコンに直接接続できるタイプのデジカメは、パソコンにつないで画像ファイルを取り込んでください。
- ・メモリーカードを使用する場合は、メモリーカードリーダー等を使用して画像ファイルをパソコンに取り込んでください。

2

インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックして、PowerProducer を起動してください。



CyberLink PowerProduc...

3

起動画面で「ムービーディスクの作成」を選択してください。

「ムービーディスクの作成」を選択



4

「ディスク形式の選択」ウィンドウが表示されますので、「1. ディスク形式の選択 : 」で「DVD」を選択し、「2. ディスクサイズの選択 : 」で書き込みを行なうメディアのサイズを選択し、「」をクリックしてください。

1. DVD を選択

2. ディスクサイズ
を選択

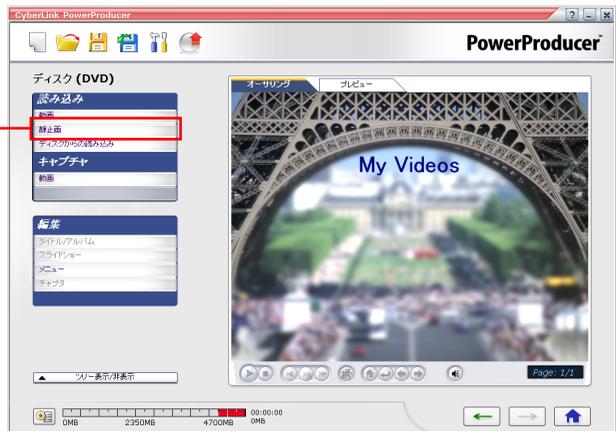


3. 「」をクリック

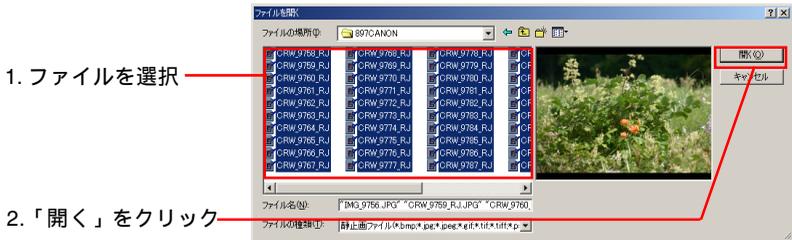
5

「ディスク (DVD)」ウィンドウが表示されますので、「読み込み : 静止画」をクリックしてください。

クリック



6 「ファイルを開く」ウィンドウで、スライドショーに保存したい画像ファイル（JPEG, BMP, TIFF など）を選択し、「開く」をクリックしてください。



同じフォルダ内に保存されているファイルなら、同時に選択可能です。

7 「スライドショー（DVD）」ウィンドウが表示されます。必要に応じて、下記の設定を行ってください。

- ・スライドショー再生中のBGMを追加する場合は「」ボタンをクリックし、音楽ファイルを指定してください。（必要ない場合は、設定を行う必要はありません。）
- ・画像の表示時間を設定してください。
- ・画像の切り替わる際の表示効果（トランジション）を設定してください。

設定が終わったら、「」ボタンをクリックしてください。



参考

ハードディスクに保存した画像ファイルを、画像ファイルとしてDVDに保存しておくことができます。その場合は「静止画ファイルの保存」チェックボックスをONにしてください。

8

「ディスク (DVD)」ウィンドウに戻ります。

「→」ボタンをクリックしてください。



「→」ボタンをクリック

9

「書き込みの設定」ウィンドウが表示されます。ドライブにメディアをセットして、以下の設定行ない、「🔥」ボタンをクリックしてください。

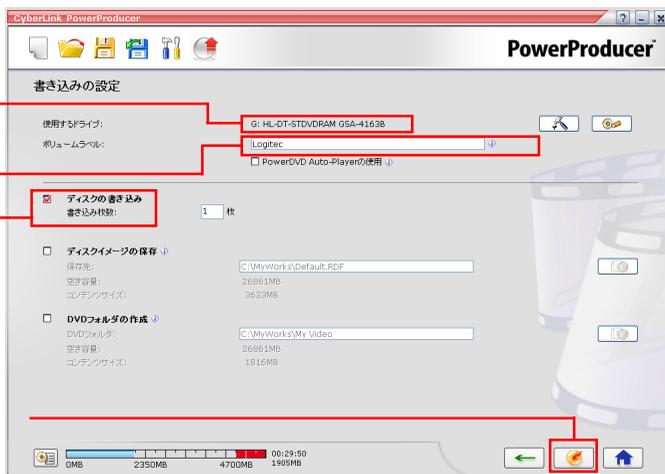
- ・「現在のドライブ」に本製品のドライブ名「HL-DT-ST DVDROM GSA-4163B」が表示されている事を確認
- ・「ボリュームラベル：」にディスクのボリューム名を入力（デフォルトでよければ無視）
- ・「ディスクの書き込み」チェックボックスにチェックが入っていることを確認

1. 確認

2. 入力

3. チェック

4. 「🔥」をクリック



Point

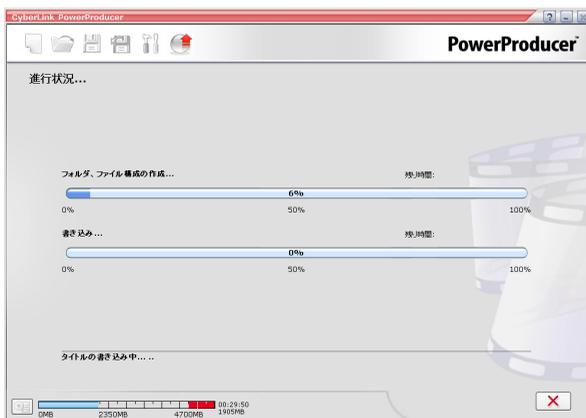
ポイント

B's CLiPのインストールされている環境では、B's CLiPのウィンドウが表示されますが「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

ドライブ名が異なる場合はドライブ名横の「🔧」ボタンをクリックして、本製品のドライブ名を選択してください。

10

「進行状況...」ウィンドウに変わり、書き込み作業が始まります。



Point

ポイント

書き込み作業は、ご使用のパソコンのCPU、メモリのスペック、書き込みファイルの容量により、異なりますが、最低でも数十分ほどかかります。

11

書き込みが終了すると以下の画面が表示され、トレイが自動的に排出されます。以上で作業は終了です。



参考

DVDメディアの中では、映像ファイルとの共存が可能です。

DVD レコーダで録画した映像を DVD ビデオに変換

概要

DVDレコーダを使いDVD-RAM, DVD-RWメディアにVRモードで録画した映像を、安価なDVD+R, DVD-R メディアへ互換性の高いDVD-Video形式へ変換します。

DVD+RW メディアへDVD+VRフォーマットで書き込んだ場合は、DVDビデオ形式と互換性を持つので、この作業は必要ありません。

使用するソフトウェア : PowerProducer 3

本製品の他に必要なもの

- ・ DVDレコーダを使いVR形式で録画したDVD-RAMまたはDVD-RWメディア
- ・ 10GB以上の空き容量があるパソコン
- ・ DVD-RまたはDVD+Rメディア

Point ポイント

書き込み作業は、ご使用のパソコンのCPU、メモリのスペック、書き込みファイルの容量により、異なりますが、最低でも数十分ほどかかります。

手順

1

インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックして、PowerProducerを起動してください。



CyberLink
PowerProduc...

2

PowerProducerを起動し、目的のウィンドウから「ディスクユーティリティ」を選択します。



「ディスクユーティリティ」
を選択

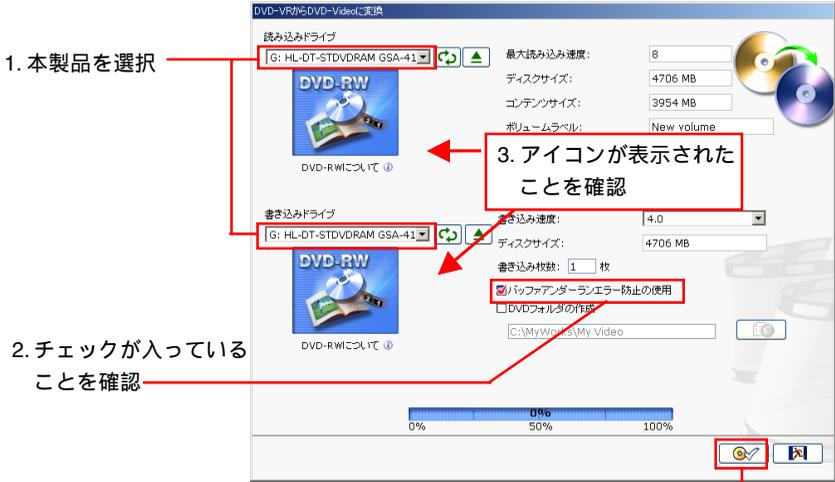
3 「ディスクユーティリティ」が表示されますので、「DVD-VR から DVD-Video に変換」を選択します。



「DVD-VR から DVD-Video に変換」を選択

4 「DVD-VR から DVD-Video に変換」ウィンドウが表示されます。以下の設定を行ってください。「読み込みドライブ」「書き込みドライブ」で本製品のドライブ名「HL-DT-ST DVD-RAM GSA-4163B」を選択し、「バッファアンダーランエラー防止の使用」にチェックが入っていることを確認してください。

DVDレコーダで録画したメディアを本製品にセットして、メディアのアイコンが表示されたことを確認し、「」ボタンをクリックしてください。メディアから映像の読み込みが始まります。



1. 本製品を選択

2. チェックが入っていることを確認

3. アイコンが表示されたことを確認

4. 「」ボタンをクリック

5 メディアの読み込みが終了すると、メディアが排出され右のメッセージが表示されます。DVDビデオを書き込むDVD-RまたはDVD+Rメディアをドライブにセットし、「OK」ボタンをクリックしてください。書き込み作業が開始されます。



メディアをセットして「OK」
ボタンをクリック

! ご注意

注：B's CLiP がインストールされている環境では、フォーマットウィンドウが表示されることがあります。その場合は「キャンセル」ボタンをクリックしてください。

6 書き込みが終了すると、ウィンドウの左下に「作業が終了しました」とメッセージが表示され、メディアが排出されます。これで、DVD-VR形式からDVDビデオ形式への変換が終了しました。



ここにメッセージが表示されます

DVD を再生する

概要

市販のDVDビデオタイトルや、DVDレコーダで録画した映像、PowerProducerで記録した映像をパソコンで鑑賞します。

使用するソフトウェア : PowerDVD 6

本製品の他に必要なもの

- ・スピーカーが接続されたパソコン（内蔵されているものでも構いません）
- ・再生するメディア

再生手順

1

インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックして、PowerDVD 5 を起動してください。



2

PowerDVD 5 が起動し、右の画面が表示されます。
鑑賞するメディアをドライブにセットしてください。



操作パネル



自動的に映像の再生が始まります。

映像の再生が始まらない場合は、操作パネルの「▶」ボタンをクリックしてください。

「▶」ボタンを押しても再生が始まらない場合、ドライブ選択が間違っている可能性があります。その場合は「ドライブ/プレイモードの選択 (📀)」ボタンをクリックして正しいドライブ名を指定してください。

操作パネルからは、再生時の各種設定が可能です。

音量を調整する場合

停止する場合



ドライブを選択する場合

音楽 CD を作る

概要

音楽ファイルを元に、オリジナル音楽 CD を作ります。

使用するソフトウェア : Power2Go

本製品の他に必要なもの

- ・ CD-R メディア
- ・ 音楽ファイル (WAVE、MP3、WMA) または音楽 CD

著作権上の注意

市販の音楽 CD やデジタル音楽放送から音楽ファイルを作成する場合、私的使用を目的とする私的複製の範囲に限定されます。不特定多数への配布を目的に複製を行なうことは、著作権法により禁じられています。

オリジナルの音楽 CD を作成するにあたり、音楽 CD などから音楽ファイルを作成します。すでに書き込みを行う音楽ファイルをお持ちの場合は、手順「6」から作業を行ってください。

1

「スタート」 「プログラム」 (Windows XP の場合はすべてのプログラム) 「CyberLink Power2Go」 「Power2Go」と選択するか、インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックして、Power2Go を起動してください。



CyberLink
Power2Go

2 「書き込みタスクの選択」ウィンドウが表示されますので、「ディスクユーティリティ」「音声の取り込み」を選択し、音楽ファイルを作成する音楽CDを本製品にセットし、「OK」ボタンをクリックしてください。

1. 「ディスクユーティリティ」を選択
2. 「音声の取り込み」を選択
3. 「OK」をクリック

3 「音声の取り込み」ウィンドウに音楽CDの情報が表示されます。オリジナル音楽CDとして作成したい曲を選択して、「参照」ボタンから保存先を指定し、「形式」の欄で「WAV」を指定して、「取り込み」ボタンをクリックします。

選択	タイトル	アーティスト	所要
<input checked="" type="checkbox"/>	無題(タイトル)	無題(アーティスト)	1:43
<input checked="" type="checkbox"/>	無題(タイトル)	無題(アーティスト)	4:19
<input checked="" type="checkbox"/>	無題(タイトル)	無題(アーティスト)	4:47
<input checked="" type="checkbox"/>	無題(タイトル)	無題(アーティスト)	5:36
<input checked="" type="checkbox"/>	無題(タイトル)	無題(アーティスト)	4:35
<input checked="" type="checkbox"/>	無題(タイトル)	無題(アーティスト)	4:23
<input checked="" type="checkbox"/>	無題(タイトル)	無題(アーティスト)	4:12
<input checked="" type="checkbox"/>	無題(タイトル)	無題(アーティスト)	4:11
<input checked="" type="checkbox"/>	無題(タイトル)	無題(アーティスト)	6:00

1. 曲を選択
2. 保存先を指定
3. 「WAV」を指定
4. 「取り込み」をクリック

4 終了すると以下のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックし、本製品から音楽CDを取り出してください。



5 「音声の取り込み」ウィンドウの、「閉じる」ボタンをクリックしてください。



6 「書き込みタスクの選択」ウィンドウが表示されますので、「音楽ディスク」を選択し、ディスクタイプの欄で「CD」を、コンテンツタイプの欄で「AudioCD」をそれぞれ選択し、本製品に書き込みを行うCD-Rメディアをセットして、「OK」ボタンをクリックしてください。

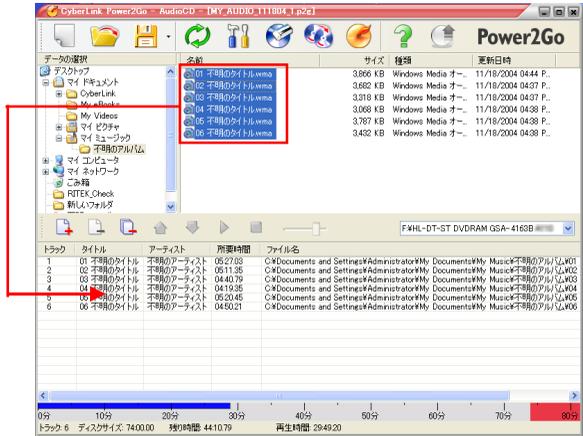


7

次に「データの選択」欄で書き込みを行いたいデータがある場所を選択し、表示される一覧から、ファイルまたはフォルダを選択して、下のリストにドラッグ&ドロップしてください。

リストには複数のファイル・フォルダを別々の場所から登録することができます。

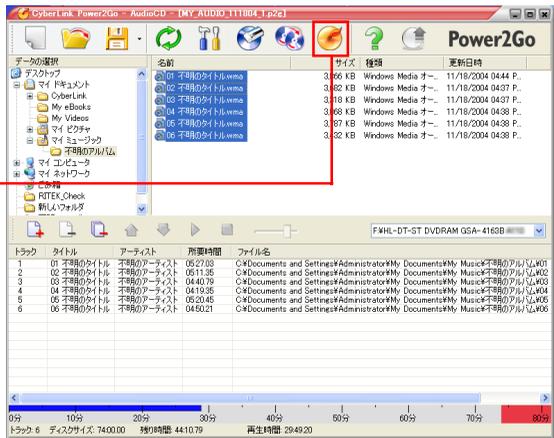
ドラッグ&ドロップ



8

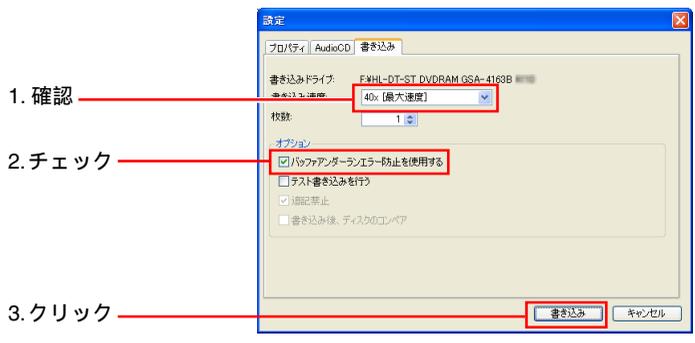
ウィンドウ右上の「ディスクの書き込み」ボタンをクリックします。

クリック



9

「設定」ダイアログが表示されますので、書き込み速度をご確認の上、オプション欄で、「バッファアンダーランエラー防止を使用する」のチェックボックスにチェックを入れ、「書き込み」ボタンをクリックしてください。



10

書き込みが始まります。書き込み中は、以下のウィンドウが表示されます。



11

正常に終了すると、以下のウィンドウが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



以上で音楽 CD の作成は終了です。

データ DVD/CD を作る

概要

パソコン上のデータを、ファイルやフォルダ単位で選択し、DVD/CDへ書き込みます。

使用するソフトウェア : Power2Go

本製品の他に必要なもの

- ・パソコン
- ・本製品で書き込みに対応しているメディア

1

「スタート」「プログラム」(Windows XPの場合はすべてのプログラム)「CyberLink Power2Go」「Power2Go」と選択するか、インストール時にデスクトップに作成された右のショートカットアイコンをダブルクリックして、Power2Goを起動してください。



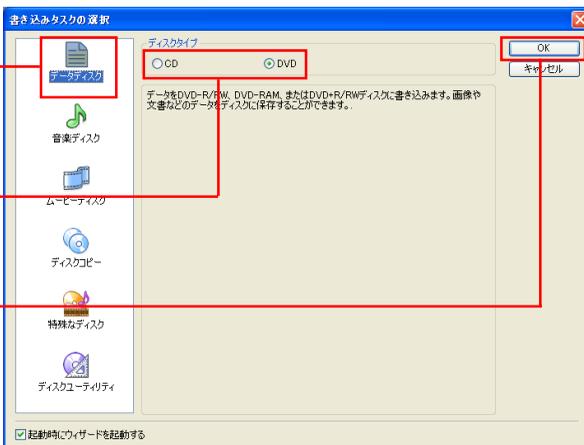
2

「書き込みタスクの選択」ウィンドウが表示されますので、「データディスク」を選択して、ディスクタイプの欄で書き込みに使用するメディアを選び、「OK」ボタンをクリックしてください。

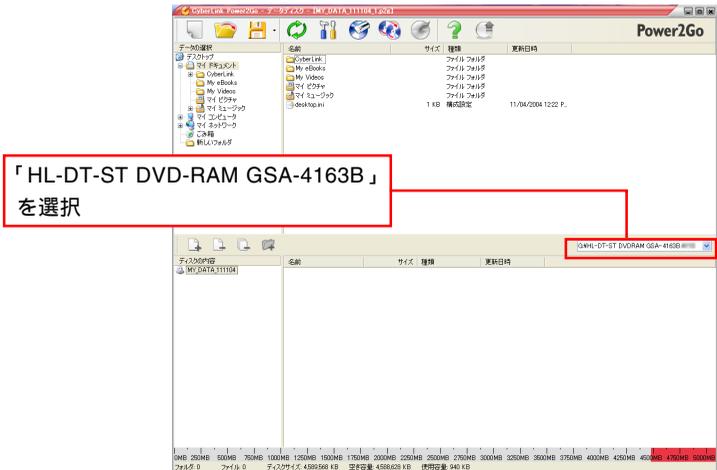
1. データディスクの作成を選択

2. ディスクタイプを選択

3. 「OK」をクリック



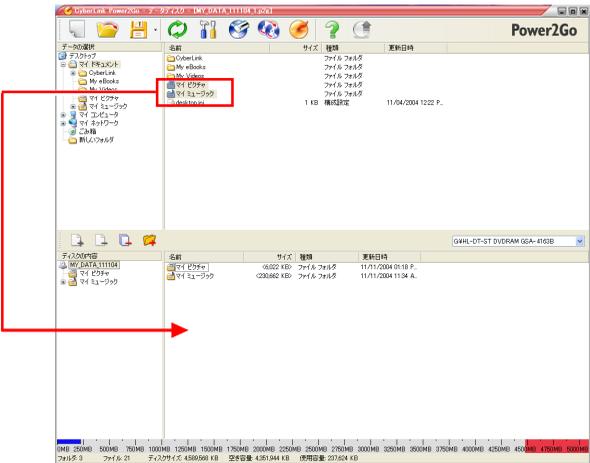
3 メインウィンドウが表示されますので、ドライブ名の欄に「HL-DT-ST DVD-RAM GSA-4163B」を選択し、ドライブにメディアをセットしてください。



4 次に「データの選択」欄で書き込みを行いたいデータがある場所を選択し、表示される一覧から、ファイルまたはフォルダを選択して、下のリストにドラッグ&ドロップしてください。

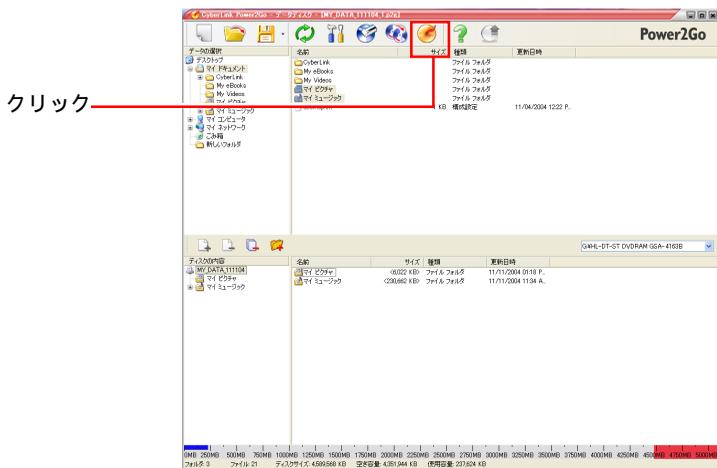
リストには複数のファイル・フォルダを別々の場所から登録することができます。

ドラッグ&ドロップ



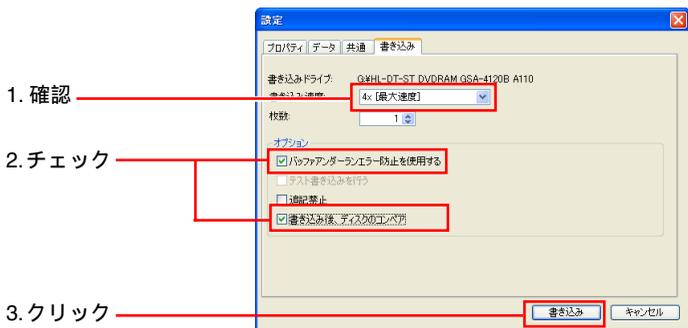
5

ウィンドウ右上の「ディスクの書き込み」ボタンをクリックします。



6

「設定」ダイアログが表示されますので、書き込み速度をご確認の上、オプション欄で、「バッファアンダーランエラー防止を使用する」と「書き込み後、ディスクのコンペア」のチェックボックスにチェックを入れ、「書き込み」ボタンをクリックしてください。



7

書き込みが始まります。書き込み中は、以下のウィンドウが表示されます。



8

正常に終了すると、以下のウィンドウが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



以上でデータ DVD/CD の作成は終了です。

Power2Go Express を使って簡単に音楽 CD やデータ DVD/CD を作る

Power2Go をインストールすると、ファイルをドラッグ & ドロップするだけで簡単に音楽 CD やデータ DVD/CD を作成できる、「Power2Go Express」がシステムに常駐します。

音楽 CD を作る場合

Power2Go の音符のアイコンに音楽データをドラッグ & ドロップしてください。

音楽 CD をセットした際、マイコンピュータ上で擬似ファイルとして表示される「***.cda」ファイルもドロップ可能です。

この場合、音楽 CD からドロップしたトラックの音声を音楽ファイルへ自動的に変換します。

ここにドラッグ & ドロップ



本製品に CD-R メディアをセットしてください。

音符横の「Rec」ボタンをクリックしてください。

クリック



自動的に書き込みがはじまり、終了するとメディアが自動的に排出されます。

データ DVD/CD を作る場合

Power2Goのデータ記号のアイコンに書き込みを行いたいデータファイルをドラッグ&ドロップしてください。

ここにドラッグ&ドロップ



本製品に書き込みを行うメディアをセットしてください。

データ記号横の「 Rec」ボタンをクリックしてください。

クリック



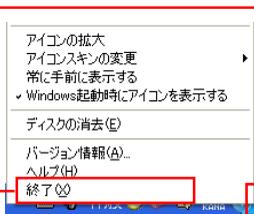
自動的に書き込みがはじまり、終了するとメディアが自動的に排出されます。

終了方法について

Power2Go Express は、Windows 起動時にシステムに常駐します。

終了させたい場合は、タスクトレイ上で Power2Go Express のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「終了」を選択してください。

1. このアイコンを右クリック



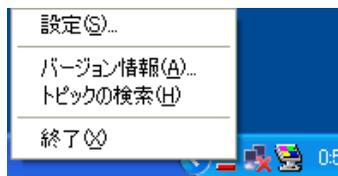
2. 「終了」を選択

上のメニューで、「Windows 起動時にアイコンを表示する」のチェックを OFF にすると、それ以降、システムには常駐なくなります。

Windows システム終了時に、自動的にディスクを排出する

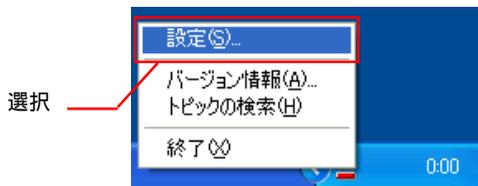
Logitech イジェクトコントローラで設定を行なうと、システム終了時に自動的にディスクの排出を行なうことができます。

システムトレイに登録されている「Logitech イジェクト コントローラ」のアイコンを右クリックしてメニューを開きます。

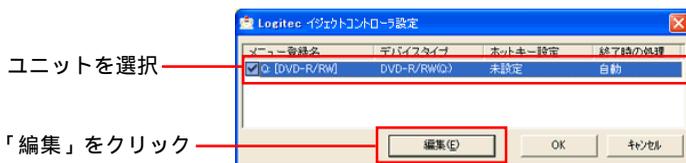


アイコンが表示されない場合は、「スタート」-「プログラム」(Windows XPでは「すべてのプログラム」)-「Logitech」-「イジェクトコントローラ」-「Logitech イジェクトコントローラ」と選択すると起動します。

「設定」を選択します。



「Logitech イジェクトコントローラ設定」ダイアログが開きます。一覧リストから目的のDVDユニットを選択して「編集」ボタンをクリックします。



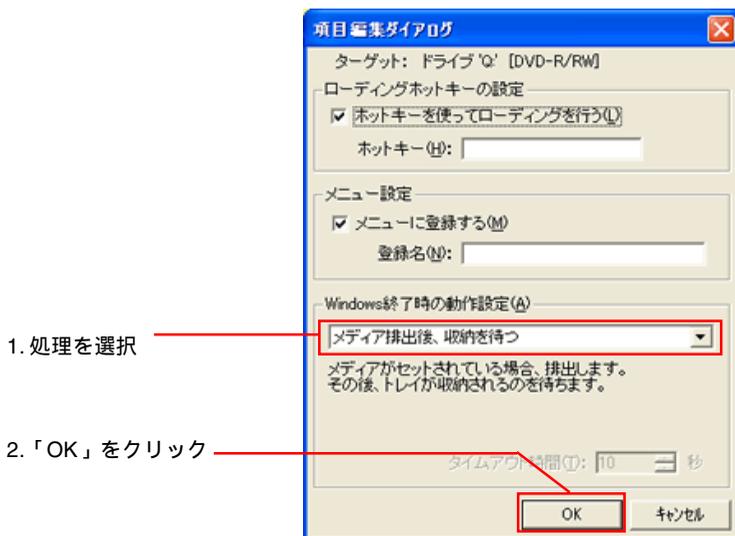
「項目編集ダイアログ」が開きます。ここで、「Windows 終了時の動作設定」を以下の中から設定し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- ・メディア排出
 - トレイを排出します。
 - DVDユニットの電源がOFFになると、トレイを収納できなくなるので注意が必要です。

- ・メディア排出後、収納を待つ
 - トレイ排出後、収納されるまでシステムの終了処理を中断します。
 - トレイが収納されるまでシステムは終了されません。

- ・メディア排出後、収納を待つ（タイムアウトあり）
 - トレイ排出後、収納されるまで待ちますが、「タイムアウト時間」に設定された秒数が経過すると自動的にトレイを収納してシステムの終了処理を継続します。

操作しないを選択すると、Windows終了時にトレイにメディアが残っていても、特に処理を行いません。



以上で、設定が適用されます。

使用可能なメディアとサポート形式

メディア	サポート形式	ソフトウェア名				
		Power2Go	PowerBackup	B's CLiP	PowerProducer	Power DVD
DVD+R	UDF			リード/ライト		
	UDF Bridge	ライト	ライト/リード			
	DVD-Video	ライト			作成	再生
DVD+RW	UDF			リード/ライト		
	UDF Bridge	ライト	ライト/リード			
	DVD-Video	ライト			作成	再生
DVD-R	DVD+VR				作成/編集	再生
	UDF			リード/ライト		
	UDF Bridge	ライト	ライト/リード			
DVD-RW	DVD-Video				作成	再生
	UDF			リード/ライト		
	UDF Bridge	ライト	ライト/リード			
DVD-RAM	DVD-Video				作成/編集	再生
	DVD-VR	ライト			読み込み	再生
	UDF			リード/ライト		
CD-R	データCD (ISO 9660)	ライト	ライト/リード			
	音楽CD	ライト				再生
	Video CD	ライト			作成	再生
CD-RW	UDF	ライト		リード/ライト		
	データCD (ISO 9660)	ライト	ライト/リード			
	音楽CD	ライト				再生
	Video CD	ライト			作成	再生

- *1 本製品とPowerProducerの組み合わせで作成したDVDフォーラム策定のビデオレコーディング規格準拠 DVD-RAM メディアは DVD-RAM 再生とビデオレコーディング規格に対応した DVD プレーヤーや DVD ビデオレコーダーで再生できます。また、ビデオレコーディング再生のアプリケーションソフトを使用すると、DVD-RAM 再生に対応した DVD-ROM ドライブや DVD-RAM ドライブなどでも再生できます。ただし、全ての装置での再生を保証するものではありません。
- *2 本製品と PowerProducer の組み合わせで作成した DVD-R (for General)、DVD-RW メディアは、DVD フォーラム策定のビデオ規格準拠となります。DVD-R、DVD-RW 再生に対応した DVD プレーヤーで再生できます。また、DVD ビデオ再生のアプリケーションソフトを使用すれば、DVD-RAM ドライブや、DVD-ROM ドライブなどでも再生できます。ただし、全ての装置での動作を保証するものではありません。
- *3 本製品と Power2Go との組み合わせで記録した DVD-RAM メディアは、それ以降読み出し専用のメディアとなり、ファイルやフォルダの追加・削除・移動・ファイル名変更・ボリューム名変更等のディスクへの書き込みを伴う処理が一切できなくなります。再度その RAM メディアにデータを記録したいときは、DVD-Form を使用して物理フォーマットを実行してください。

各ソフトウェアのオンラインマニュアルの参照方法

各ソフトウェアのユーザーズマニュアルやヘルプファイルの参照方法は、以下をご参照ください。

PowerProducer

「スタート」 「プログラム」(Windows XP の場合は「すべてのプログラム」)
 「CyberLink PowerProducer」 「PowerProducer User's Guide」

PowerDirector

「スタート」 「プログラム」(Windows XP の場合は「すべてのプログラム」)
 「CyberLink PowerDirector」 「PowerDirector User's Guide」

PowerDVD

「スタート」 「プログラム」(Windows XP の場合は「すべてのプログラム」)
 「CyberLink PowerDVD」 「PowerDVD User's Guide」

Power2Go

「スタート」 「プログラム」(Windows XP の場合は「すべてのプログラム」)
 「CyberLink Power2Go」 「Power2Go ヘルプ」

PowrBackup

「スタート」 「プログラム」(Windows XP の場合は「すべてのプログラム」)
 「CyberLink PowerBackup」 「PowerBackupオンラインヘルプ」または「Powerbackup
 ユーザーズガイド」

B's CLiP 6 for Windows

「スタート」 「プログラム」(Windows XPの場合は「すべてのプログラム」) 「B.H.A」
 「B's CLiP」 「ユーザーズマニュアル」

Logitech イジェクト コントローラ

ウィンドウ右下のアイコンを右クリックして表示されるメニューから、「トピックの検索」を実行してください。

